



歴史資料の発掘

教養分館長 佐伯有清

歴史資料の発掘という言葉から受ける印象は、土中から掘り出される考古資料のことが強いかもしれない。しかし、ここにいる歴史資料の発掘とは、図書館の書庫にならんでいる既知の書物の中から、新しい歴史資料を掘り出すことである。

ごく最近にも、私は、こうした歴史資料の発掘を体験した。「大日本仏教全書」という仏教関係の諸書を収録した老大な叢書がある。この中に聖徳太子の伝記を集めた「聖徳太子伝叢書」という一冊があり、これに聖誉なる僧が撰述した『聖誉鈔』が収められている。

聖誉という人物については、これまで余り知られていなかったが、最近、彼は正平5年(1350)に誕生した人であることがはっきりした。聖誉の誕生年から推しはかると、『聖誉鈔』の成立は、14世紀末か15世紀初めころと考えられる。古代史の新しい資料を、14世紀末ごろの文献から発掘することは、天空に新星を発見することに近いといつてよいであろう。

ところが、数多い聖徳太子伝の文献には、数々の古い書物からの引用があり、注意深く聖徳太子伝関係の文献を読みなおすことによって、既知の文献資料が、今日まで、わずかに1字にせよ、読み誤られていたことの発見とならんで、まったくの新しい歴史資料の発掘さえ期待できるのである。

最近の私の発見は、『聖誉鈔』に引用されている秦川勝(京都の広隆寺を建立したと伝えられている聖徳太子時代の人)の本系、つまり秦氏(はたうじ)の系譜書にかかわるものであった。この引用文献の中に、葛木曾都比古(かつらぎのそつひこ)が秦氏の民を領有していたと読みとれる記載が目に入った。

いままで、秦氏とならば倭漢(やまとのあや)氏の民が、葛城氏に領有されており、5世紀後半に葛城氏の滅亡にともなって、それが大和国家の直接の統率下に入ったという推移は、知られていた。しかし、秦氏の民が、葛城氏に領有されていたことを物語る資料はなかった。それが、今度、『聖誉鈔』から発掘されたのである。この資料が古代の文献からの引用に源流があること、つまり歴史資料として信憑性があることは、「槻田加知」という秦氏の民の名が記されていることから確かめられる。槻田とは、後世には、地名として残存しなかった葛城地方にあった古い地名である。それが、ここにみえることは、その記載の古いことをあらわしている。地名がなくなってからは、造作できない名称だからである。

新しい歴史資料の発掘のために、北大図書館の書庫にもぐり込む今日この頃の成果である。

◆ 会 議

第109回 図書館委員会

<と き 昭和57年5月29日(土)>
<と ころ 附属図書館会議室>

議 題

1. 昭和56年度決算について
2. 昭和57年度予算(案)について
3. 昭和57年度図書資料大型コレクションの収書計画について

第110回 図書館委員会

<と き 昭和57年6月26日(土)>
<と ころ 附属図書館会議室>

議 題

1. 昭和57年度予算配当(案)について
2. その他

第71回 教養分館委員会

<と き 昭和57年6月15日(火)>
<と ころ 教養分館会議室>

議 題

1. 昭和56年度図書費決算について
2. 昭和57年度教官指定図書の選定について
3. その他

第72回 教養分館委員会

<と き 昭和57年7月12日(月)>
<と ころ 教養分館会議室>

議 題

1. 昭和57年度図書費予算(案)について
2. 昭和57年度参考図書及び視聴覚資料の選定について
3. その他

全学図書(担当)掛長会議

<と き 昭和57年7月15日(木)>
<と ころ 附属図書館会議室>

議 題

1. 会計検査院実地検査について
2. その他

「図書業務機械化ワーキンググループ」第6回委員会概要

日 時 昭和57年2月15日

場 所 附属図書館会議室

各班において検討された次の事項について詳細な説明があり、問題点をあげて質疑応答、意見交換を行い、今後必要な修正を加えながら全学的な機械化の基本的考え方をとりまとめていくこととした。

1. 総務関係業務
 - (1) 予算・経理業務について

- (2) 複写関係業務について
- (3) 統計業務について
- 2. 図書受入業務システムモデル設計
 - システムモデル設計の基本的要件—
 - (1) ネットワークの形成と機能について
 - (2) DBMS と関連機能について
 - (3) 図書予算管理及び受入業務のシステム形成と業務処理について
 - 処理の概略—
 - a. 図書予算管理業務 b. 図書発注業務 c. 図書受入業務 d. 統計
- 3. 整理業務関係
 - (1) 業務の基本理念について
 - (2) 書誌情報に関するレコードサイズについて
 - (3) 業務の概略フロー
 - (4) 機能と問題点
- 4. 雑誌管理システム
 - (1) 雑誌管理業務の機械化について
 - (2) オンラインファイルについて
 - (3) バッチ用ファイルについて
 - (4) データ項目の調査・検討
 - (5) 本学の雑誌種類調査
- 5. 閲覧業務関係
 - (1) 入・退館チェックシステムについて
 - (2) 閲覧業務電算化システムについて

以上

「図書業務機械化ワーキンググループ」第7回委員会概要

日 時 昭和57年3月1日

場 所 情報処理課電算機室

今回は、経理部情報処理課電算機室において、事務局における電算化業務の実情について、また、漢字処理について研修を行った。

以上

「図書業務機械化ワーキンググループ」の拡充について

標記「ワーキンググループ」は関係部局の協力を得て、昨年12月10日付けをもって発足し、第1回より第5回までの活動状況についてはすでに図書館報「楡蔭」(号外 Mar. 1982)に掲載しています。この度さらに全学的視野にたつて具体的な計画・策定を推進しなければならない情勢となつてまいりました。

ついで、すでに発令されている委員に加え11月1日付けをもって新たに委員を委嘱別紙名簿のメンバーにより全学的なご理解を得ながら推進していくこととなりましたのでご協力方よろしくお願いたします。

委員名簿 (○印は新委員)

	氏 名	所 属
主 査	石 川 雅 夫	附属図書館閲覧課長
副主査	石 黒 克 介	〃 補佐
	○ 嶋 崎 功	附属図書館整理課会計掛
	小 笠 原 敏 明	〃 〃 受入掛

氏 名	所 属
小 西 和 信	附属図書館整理課整理掛
○井 手 上 恵 子	〃 〃 〃
黒 田 泰 行	〃 〃 雑誌掛
川 端 美 明	〃 〃 〃
山 下 洋 一	〃 〃 教養分館整理掛
○高 崎 仁 雄	〃 〃 〃
宇 野 弘 純	〃 閲覧課参考調査掛
杉 田 福 夫	〃 〃 閲覧掛
○加 徳 健 三	〃 〃 〃
○石 倉 賢 一	〃 〃 学術情報掛
諏 訪 田 義 美	〃 〃 〃
○佐々木 光 子	文学部 図書掛
○岡 田 潔	教育学部 〃
○藤 沢 一 教	経済学部 〃
○福盛田 勉	理学部 〃
菊 地 健 二	医学部図書整理掛
○堅 田 政 孝	歯学部図書掛
○高 橋 忠 明	薬学部図書室
木 下 彰	工学部総務課図書掛
山 田 紀 子	〃 電気工学科図書室
○紙 屋 国 男	農学部図書掛
○岡 本 憲 吉	獣医学部 〃
○荒 木 修	水産学部 〃
○桑 野 勇 次	大学院環境科学研究科総務掛
○山 口 國 雄	低温科学研究所図書掛

第29回 国立大学図書館協議会総会

本年度の国立大学図書館協議会総会は、北信越地区が担当し、信州大学において、6月16日(水)から18日(金)までの3日間にわたり開催された。

参加校は本学はじめ94大学、参加者は238名であった。(オブザーバーとして国文学研究資料館が参加。)文部省からは、情報図書館課倉橋専門員、糸金大学図書館係長が列席された。以下会議の概要を報告する。

第1日目(6月16日)

準備理事会

第2日目(6月17日)

1. 総会開会式
2. 議長団等選出
3. 報告事項

各地区協議会の活動状況及び国公私立大学図書館協力委員会、大学図書館国際連絡委員会等について報告があった。

4. 協議事項

理事及び監事選出、関係規程の改正、昭和57年度予算案等について協議を行った。

5. 昭和57年度国立大学図書館協議会賞受賞者表彰式

理事会において下記のとおり受賞者を決定した旨報告があり、表彰式を行った。

- (1) 応募区分「図書館活動における功績」

- (2) 受賞者 東京工業大学附属図書館逐次刊行物データベースシステム
ワーキンググループ代表者 内藤英雄
- (3) 件名 「東京工業大学附属図書館逐次刊行物データベースシステム
(TIPSY) の設計」

6. 研究集会

「学術情報システムと大学図書館」をテーマとして、筑波大学附属図書館学術情報課長 石川 亮「筑波大学附属図書館における電算化の現状等について」、東京工業大学附属図書館整理課長 浅野次郎「外国雑誌センター館として」、信州大学工学部教授 中村義作「情報化時代における大学図書館の未来像について」以上の3氏から報告があり、それに基づいて活発な討論が行われた。

第3日目(6月18日)

7. 分科会

第一分科会(運営・サービス)

学術情報センターシステムの推進と各図書館の役割等の問題を中心として、活発な討論がなされ、大学図書館におけるコンピューターネットワークに関する調査研究班を設置することを全体会議に提案することとなった。

第二分科会(予算)

図書館維持費、図書購入費、職員旅費の3点について問題点の検討を行った。高額二次資料の所在調査を実施することを全体会議に提案することとなった。

第三分科会(人事)

学術情報センター構想にむけての要員確保と養成のための研修について、待遇改善及び増員等について討議があった。

8. 全体会議

上記分科会において討議された事項について、各分科会主査からそれぞれ報告があり、討議の結果、第一及び第二分科会から提案のあった、大学図書館におけるコンピューターネットワークに関する調査研究班及び高額二次資料の所在に関する調査研究班の設置の件を理事会に持上げることとなった。(この件は総括理事会において了承された。)

9. その他

来年度の総会は、北海道地区が担当し、本学の当番で明年6月上旬に開催されることになっているので、各位の御協力をお願いしたい。

第32回 北海道地区大学図書館協議会総会

くとき 昭和57年8月20日(金)>

くところ 旭川大学附属図書館>

標記協議会総会は、北海道地区21大学45名が出席、慣例により当番館旭川大学附属図書館宇佐見良雄館長が議長に選出され行われた。

協議事項等は次のとおりである。

報告事項

- (1) 幹事館会議報告
- (2) 北海道地区大学図書館協議会昭和57年運営資金決算報告
- (3) 第25回北海道地区大学図書館職員研究集会報告
- (4) 北海道地区大学図書館相互利用検討委員会報告
- (5) 北海道大学学術情報システム準備検討委員会答申(第一次答申)について
- (6) 各館界の動向(国・公・私立大学)

協議事項

- (1) 研究集会報告書の作成について

(2) 第33回北海道地区大学図書館協議会総会及び第26回北海道地区大学図書館職員研究集会の当番館について

総会については、北星学園大学に、研究集会については、小樽商科大学にお願いすることとなった。

(3) その他

承合事項

視聴覚資料の取扱等について

第56次国立七大学附属図書館協議会

<と き 昭和57年10月8日(金)>

<当番館 東京大学総合図書館>

標記協議会は、文部省から情報図書館課田保橋課長、倉橋専門員および糸金大学図書館係長の列席を得、国立七大学の附属図書館長、事務部長および課長が出席して行われた。

協議題等は次のとおりである。

<協議題>

1. 学術情報センターの早期実現について(名古屋大学)
2. 学術情報システムに対応する地域の体制について(北海道大学)
3. 各大学における特殊な文献の機械処理について(京都大学)
4. 中央図書館と部局図書室等における研究図書館機能の分担と多重構造の問題について(名古屋大学)
5. 高額二次資料の収集計画について(東北大学)
6. 保存図書館について(東京大学)

なお、57次(昭和58年)同協議会は、名古屋大学を当番館として開催される。

◆ 図書館だより

EC資料センター開設記念講演会

本年3月当館にEC資料センターが開設されたが(「榆蔭」第58号参照)、それを記念して、9月24日(金)百年記念会館大会議室において講演会を開催した。

午後2時から、映画“EC in the World”を上映し、塩谷館長及び駐日EC委員会代表部広報参事官ジル・アヌイ氏の挨拶のあと、フランス・リール第一大学教授ピエール・マイエ氏が、「EC産業戦略の過去・現在・未来——共同市場創設から産業戦略確立まで——」と題して、約2時間講演された。

なお、講師紹介及び質疑応答の司会は、経済学部石坂昭雄教授が勤められ、約40名の参加者を得て盛会裡に終了した。

◆ 統 計

部 局 別 蔵 書 冊 数

(昭和57年3月31日現在)

部 局 区 分	和 書	洋 書	合 計	備 考
附 属 図 書 館	394,114	260,712	654,826	法学部を含む
教 養 分 館	75,524	12,205	87,729	教養部及び言語文化部を含む
文 学 部	69,310	97,702	167,012	
教 育 学 部	45,456	20,599	66,055	
法 学 部	(48,455)	(84,323)	(132,778)	
経 济 学 部	41,660	31,766	73,426	
理 学 部	43,152	117,968	161,120	
医 学 部	56,471	71,540	128,011	附属病院を含む
歯 学 部	9,777	9,664	19,441	〃
薬 学 部	3,723	10,338	14,061	
工 学 部	150,497	118,931	269,428	
農 学 部	158,034	93,107	251,141	附属農場及び附属演習林を含む
獣 医 学 部	8,676	16,710	25,386	
水 産 学 部	61,745	36,619	98,364	
教 養 部	(10,141) 15,855	(3,822) 8,140	(13,963) 23,995	
言 語 文 化 部	(1,394)	(2,787)	(4,181)	
大学院環境科学研究科	4,830	1,575	6,405	
低温科学研究所	5,389	11,911	17,300	
応用電気研究所	4,302	11,601	15,903	
触媒研究所	2,732	8,293	11,025	
免疫科学研究所	1,267	5,457	6,724	
スラブ研究センター	1,005	7,209	8,214	
大型計算機センター	755	759	1,514	
事 務 局	1,804	144	1,948	
学 生 部	621	97	718	
医療技術短期大学	5,897	563	6,460	
合 計	1,162,596	953,610	2,116,206	

昭和56年度 部局別図書・雑誌受入冊数

区 部 局	図 書							雑 誌						
	和 書			洋 書			計	和 書			洋 書			計
	購入	寄贈 交換	製本 移管	購入	寄贈 交換	製本 移管		購入	寄贈 交換	その他	購入	寄贈 交換	その他	
附属図書館 ¹⁾	4,051	1,574	98	6,686	399	1,449	冊 14,257	384	2,903	19	452	503	23	種類 4,284
教養分館 ²⁾	3,637	217	941	2,486	62	701	8,044	257	29		185	2		473
文学部	4,395	213	782	4,487	193	1,468	11,538	179	761		449	4		1,393
教育学部	2,362	65	581	629	1	52	3,690	202	471	5	183		1	862
法学部	(1,675)	544		3,600	209	384	6,412)	(134)	459		271	30		894
経済学部	2,088	180	593	2,164	103	396	5,524	169	731		229	66		1,195
理学部	723	59	136	1,318	162	642	3,040	129	262	1	735	197	4	1,328
医学部 ³⁾	1,405	374	1,472	773	236	1,604	5,864	238	511		861	75	19	1,704
歯学部 ⁴⁾	554	23	269	162	3	455	1,466	116	122		215	29		482
薬学部	103	33	51	43	10	627	867	21	33		102	3		159
工学部	2,961	116	1,164	1,411	11	1,769	7,432	329	840		714	30		1,913
農学部 ⁵⁾	2,936	889	24	1,636	338	12	5,835	411	719	2	634	191	2	1,959
獣医学部	137	5	109	148	4	456	859	31	183		152	157		523
水産学部	961	75	572	231	22	932	2,793	341	883		264	366	4	1,858
教養部	(254)	162		263	60		739)	(33)			99			132)
言語文化部	(1,334)	3	57	2,118		669	4,181)	(27)			75			102)
大学院環境科学研究科	657		63	195		154	1,069	24	61		118	20		223
低温科学研究所	88	6	224	98	12	464	892	41	250		87	211		589
応用電気研究所	90			126		470	686	25	208		119	70		422
触媒研究所	26		25	119		308	478	15	1		53	22	1	92
免疫科学研究所	19			64		281	364	11	119		56			186
事務局														
学生部								20						20
スラブ研究センター	39	1	17	1,055	188	218	1,518	4	131	5	122	46		308
大型計算機センター	68			65	114		247	15			35			50
医療技術短期大学部	410		4,676	36		475	5,597	48			9			57
合計	27,710	3,830	11,797	23,932	1,858	12,933	82,060							

- 備考 1) 法学部を含む。
 2) 教養部及び言語文化部を含む。
 3) 附属病院含む。
 4) 附属病院含む。
 5) 附属農場, 附属演習林含む。

昭和 56 年度 附属図書館利用統計

閲覧室名 開館 日数 利用部局等	書庫出納カウンター		開架図書室		語学 演習室	参 考 書 室	北 方 資 料 室	合 計
	館内閲覧	館外貸出	館内閲覧	館外貸出				
	290 日	290 日	263 日	263 日	278 日	290 日	290 日	
文 学 部	460人	1,323人		3,091人	160人	1,472人	394人	
教 育 学 部	76	225		744	10	230	40	
法 学 部	690	1,894		5,258	369	552	76	
経 济 学 部	50	191		1,709	280	306	63	
理 学 部	29	37		3,678	17	112	13	
医 学 部	9	19		340	18	32	7	
歯 学 部	3	2		408	8	10		
薬 学 部	7	4		492		14		
工 学 部	28	43		1,192	16	170	72	
農 学 部	30	52		1,118	33	182	149	
獣医学部		1		202	2	13	2	
水産学部	2			2		4	5	
教養部	135	228		5,284	41	519	81	
各種学校	2	16		339	8	} 88	} 67	
各 研 究 所								
教 官	155	2,389		406	97			
院 生	88	2,728		1,390	209			
職 員	116	247		1,219	16			
学 外 者	267	400		53		198	932	
利用者合計	2,147	9,799		26,925	1,284	3,902 ³⁾	1,901 ⁴⁾	45,958
利用冊数	4,792	26,624	10,909	35,586	1,390巻	214 ¹⁾	1,175 ²⁾	79,300冊 1,390巻

- 注 1) 国連資料, OECD 資料, EC 資料, 図書館学資料のみ (参考図書は貸出ししない)
 2) 館外貸出冊数 (室内利用は含まず)
 3) 参考図書室については, 教官・職員・学生こみの人数
 4) 北方資料室については, 教官・学生・こみの人数

昭和 56 年度 文献複写・相互利用統計

I. 国内: 附属図書館参考調査掛を経由して学外へ依頼した件数 (国立・私立とも)

申込局部	附 属 図 書 館	法学部	文学部	教育学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部
件 数	13	400	210	55	18	4	0	1	2	2
申込局部	農学部	獣医学部	水産学部	低温 研究所	応 電 研究所	触 媒 研究所	免 疫 研究所	環境科学 研究科	教養部他	合 計
件 数	44	4	0	1	71	7	8	200	19	1,059

II. 国内：新方式(国立大学等図書館相互における文献複写)で各部局図書掛等が受付・依頼を行った件数

部局	附属図書館	文	経	理	医	歯	薬	工	農	獣医	水産	低温	合計
受付	2,237				1,160		87	498	1,019	433	324	154	5,912
依頼	694	208	119	400	669	88	38	345	195	46	229	30	3,061

III. 国外への依頼件数(参考調査掛) 484件(米・加261, 英125, 西独35, 仏17, ソ連9, その他37)

IV. 図書館間相互貸借(参考調査掛) ○他館への貸出 225件 ○他館からの借用 108件

V. 附属図書館マイクロ電子・複写業務実績(館内分を除く)

複写数 申込者	件数注) (件)	複写論文 点数 (点)	処理枚数・コマ数					
			総数	内訳				
				電子複写 (枚)	マイクロ フィルム (コマ)	マイクロ フィッシュ (枚)	引伸焼付 (枚)	リーダー プリンター (枚)
学内者	604	1,046	19,999	5,800	1,603	0	48	12,548
学外者	3,435	4,743	69,927	60,169	2,345	0	120	7,293
合計	4,039	5,789	89,926	65,969	3,948	0	168	19,841

注) 件数は申込延人数と同じ。(複写不能分を含まず)

VI. 問い合わせ件数(参考調査掛)

1. 問い合わせ内容別

合計	1,408	文献所在調査 1,267	書誌調査 69	事項調査 72
----	-------	--------------	---------	---------

2. 問い合わせ部局別

文	教	法	経	理	医	歯	薬	工	農	獣	水	環	養	低	応	触	免	事	学外	合計
38	14	23	22	163	51	22	26	193	167	20	32	15	15	27	26	28	18	33	475	1,408

昭和56年度 教養分館利用統計

(開館日数290日)

利用部局等	開架図書室		語学演習室		ビデオ視聴室		
	館内閲覧	館外貸出					
文学部		1,699冊	1,028人	48巻	22人	14巻	11人
教育学部		277	159	1	1	17	12
法学部		653	393	45	44	25	20
経済学部		688	396	40	31	31	27
理学部		2,734	1,678	77	58	108	73
医学部		405	268	13	13	126	110
歯学部		157	91	7	7	34	21

利用部局等	開架図書室		語学演習室		ビデオ視聴室		
	館内閲覧	館外貸出					
薬学部		437冊	276人	2巻	2人	31巻	28人
工学部		2,435	1,546	51	51	118	105
農学部		404	229	5	5	21	19
獣医学部		358	218	3	3	2	2
水産学部		7	3			1	1
教養部		42,056	26,469	503	470	2,563	2,246
各種学校		357	224			10	7
教官		2,612	449	8	7	42	32
院生		342	177	5	5	3	3
職員		1,171	797	11	11	5	5
学外者		19	13			1	1
合計	13,729冊	56,811	34,414	819	730	3,152	2,723

昭和56年度 教養分館分類別館外貸出統計

類別	0	1	2	3	4	5	6
冊数	863	3,580	334	4,859	1,658	21,617	1,497
類別	7	8	9	文庫・新書	雑誌	合計	
冊数	1,401	7,550	5,473	7,888	91	56,811	

◆ 研 修

第25回 北海道地区大学図書館職員研究集会

<とき> 昭和57年8月5日(木)>

<ところ> 北海道教育大学岩見沢分校>

標記研究集会は、当地区22大学124名が参加して次のように行われた。

○研究発表・講演

司会 北海道薬科大学 日高 八州夫
札幌大学 宮本 正夫

<発表 1.> 大正期～昭和20年代の本道教育関係民間雑誌の書誌的考察

発表者 北海道教育大学 谷口 一弘
岩見沢分館

<講演> 学術情報システム構想について

講師 北海道大学附属 平 清二
図書館事務部長

<発表 2.> 道内大学図書館における On-Line 情報検索の現状

発表者 北海道情報検索研究会(仮称)
(旭川医科大学) 山口 直比古

○分科会 ー共通テーマ： 大学図書館の日常業務をみなおそうー

第1分科会 受贈図書(含、パンフレット)の受入・整理基準をみなおす

司会	酪農学園大学	下田	尊久
事例発表	北見工業大学	矢野	誠一
	東海大学札幌分館	佐藤	英一

第2分科会 各館発行の冊子体目録をみなおす

司会	小樽商科大学	高砂	慶二
	北海道大学	達昭	澄夫
事例発表	北海道教育大学	荒川	真澄
	札幌大学	宮本	正夫
	北海道大学	小西	和信

第3分科会 各館の利用をみなおす

ー閲覧体制・蔵書構成・利用対象者と利用度ー

司会	札幌医科大学	中山	純一
	北海学園大学	酒井	哲哉
事例発表	藤女子大学	小野寺	純子
	北海学園大学	浦上	忍隆
	北海道大学	星賀	隆

○全体会議(分科会報告)

以上について、活発な討議及び質疑応答が交され、有意義かつ、盛会裡に終了した。

なお、本研究集会在当番館北海道教育大学の関係者各位並びに研究集会企画委員会委員各位の熱意と協力のもとに予定どおり終了したことを感謝するものである。

(北海道地区大学図書館協議会常任幹事館)
北海道大学附属図書館

ベーシック言語プログラム講習会

閲覧課学術情報掛

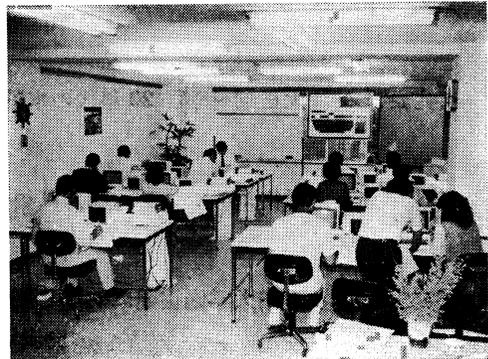
上記講習会が去る9月7日、9日、10日の3日間、「ソード札幌」講習会場において開催されました。

本講習会は、図書館業務電算化計画の一端として企画したもので、実際にコンピュータを操作してその理解を深めることを目的としたものです。

講習内容は、プログラムの作成および端末機の操作が主で、講師に「ソード札幌」の柴田秋生氏を迎え、附属図書館職員11名が熱心に受講しました。

また、この講習では、受講者各人が1台ずつの端末機を使用することができたので、その成果は期待以上のものがありました。

今後も対象を拡げて計画していきたいと考えています。



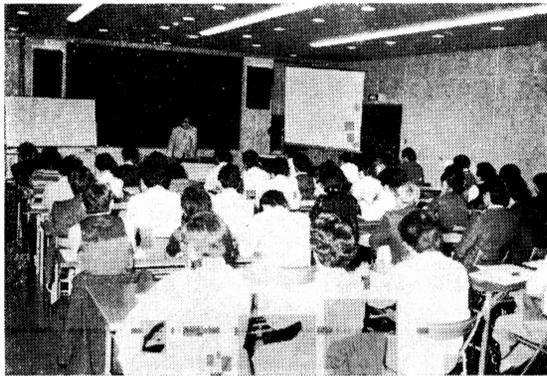
昭和 57 年北海道大学図書館職員講習会

標記講習会が、10月1日(金)教養分館を会場として実施された。これは、昨年まで実施してきた北海道地区国立大学図書館職員研修に代って企画されたもので、本学図書館職員に対し図書館業務の機械化に関する基礎的知識を付与し、併せて、「学術情報センターシステム」構想に対応した地区ネットワーク構築の促進に資することを目的としたもので、当日は道内各国立大学・高専図書館職員を含む46名が受講し、予定どおり終了した。

なお、プログラムは下記のとおりである。

昭和 57 年北海道大学図書館職員講習会日程

9:00~	開会挨拶	館長 塩谷 鏡
	講師紹介	事務部長 平 清 二
9:15~12:00	講 義	学術情報システムと図書情報処理 ——名古屋大学における計画と現状—— 名古屋大学附属図書館学術情報課長 関 篤
13:00~16:00	講 義	図書館情報サービスとこれからの大学図書館 東京大学情報図書館学研究センター助教授 井 上 如 夫
16:00~17:00	質疑応答	司会 北大閲覧課長 石 川 雅 夫



◆ 受 贈 図 書

本学教官著作物

〔本 館〕

○低温科学研究所

酒 井 昭

植物の耐凍性と寒冷適応 一冬の生理・生態学一〔学会出版センター〕

○医 学 部

小林 博 (共編)

がんとの対話 学際的な癌の問題解決法〔春秋社〕

山 下 格

覚醒剤中毒〔金剛出版〕

フィッシュ精神分裂病〔金剛出版〕

(監訳)

精神医学と神経学の境界領域〔金剛出版〕

対人恐怖 (新臨床医学文庫 270)〔金原出版〕

誤診のおこるとき 一早まった了解を中心として一 (精神科選書3)〔診療新社〕

○経 済 学 部

石 垣 博 美

アメリカ人のヨーロッパ像〔木鐸社〕

○文 学 部

和 田 謹 吾

埋み抄

田 中 彰

特命全権大使 米欧回覧実記 (五) (岩波文庫 33-141-5)〔岩波書店〕

松 川 健 二

宋明の思想詩〔北海道大学図書刊行会〕

○工 学 部

久 郷 昌 夫

エネルギー動向および解説〔資源エネルギー研究所〕

○応用電気研究所

荒 川 泓

現代科学の形成と論理 一物理学を中心に一〔大月書店〕

力学的性質 I (高分子実験学 9)〔共立出版〕

○理 学 部

青 戸 借 爾

比較動物学 アメーバーからヒトまで〔培風館〕

都 筑 俊 郎

Finite Groups and Finite Geometries.

○獣医学部

菅 野 富 夫

Paraneurons, Their Features and Functions Excerpta Media.

正 誤 表 No. 58 (May. 1982)

頁	行	誤	正
2	上から8	11月18日(土)	11月28日(土)
(603)	(第107回図書館委員会 の<とき>の部分)		

◇ 人事往来 ◇

図書館委員会委員

中田靖泰	(言語文化 部 教授)	57. 5. 19
望月喜市	(スラブ研究センター教授)	〃
稲垣春男	(医療技術短期大学部教授)	〃
田中時昭	(工 学 部 教 授)	57. 6. 1
山下格	(医 学 部 教 授)	57. 9. 16 (再任)
垣内美弘	(応用電気研究所助教授)	57. 11. 1

配 置 換

横山彰一 整理課会計掛 (閲覧課閲覧掛) 57. 8. 16

採 用

安達美都里 閲覧課参考調査掛 57. 7. 19

退 職

坂本洋子 閲覧課参考調査掛 57. 6. 30

北海道大学附属図書館報 「楡蔭」 (通巻 59 号)

1982 年 11 月 30 日 発行 発行人 平 清 二

編集委員 官部 徹 (長)・石川雅夫・遠藤雄作・石黒克介・成田 稔・嶋崎 功・杉尾勝茂
山本幾夫・黒田泰行・庄司重陽・遼 昭二・宇野弘純・石倉賢一・星賀 隆

発行所 北海道大学附属図書館 札幌市北区北 8 条西 5 丁目 電話代表 711-2111 (2967)

印刷所 文栄堂印刷所 札幌市中央区北 3 条東 7 丁目 電話代表 231-5560・5561